

# 小さな遊び

## ちぎる

折り紙をちぎって遊ぶ  
新聞紙あそびのときは、ちぎれていたけれど  
小さい紙だと 難しい

紙の硬さ、鮮やかな色合い  
指先を使い集中して行います。

自分の思い通りにはいかなくて  
悔しい感情をだす子がいます。

お友達の姿を見て、繰り返し経験して  
破りかた、力加減を吸収していました。



ちぎった紙で小さい、大きい を意識  
重なった様子を いっぱい 山盛りと表現

ちぎりがたによって破れた断面の違い  
じっくり折り紙と向き合います。]

画用紙にのりを塗ると、思い思いに貼っていき、  
鮮やかな作品ができました。

出来上がるとおもむろに渡しにきます。

「かざって」の合図

自分達の作品が飾られることが  
生活の一部になっています。

厳しい暑さが続き、戸外に出られる日は  
遊べる時間も短時間になっています。

室内でも、全身を動かせる 大きな遊びと

指先を使う 小さな遊びを

どちらも大切にしながら

様々な経験ができるように

誘いかけていきたいと思えます。

